

環境

エネルギーを取り扱う企業の責務として、資源とエネルギーの効率的利用を追求するとともに、環境負荷の抑制に取り組みます。また、汚染を未然に防ぐ仕組みを構築し継続的に運用します。

関連するSDGs



- 風力など発電事業者に対するメンテナンス支援 (潤滑油販売部)
- 天然ガスへの転換による温室効果ガスの排出抑制 (天然ガス部)
- 製品の開発・製造に使用した廃水の適正管理(化学品事業部)
- 環境安全監査による環境汚染の防止
- 「三愛石油オブリの森」体験型環境研修

環境に配慮した製品の拡販

化学品事業部の取り組み

化学品事業部、三愛理研(株)

化学品事業部では、環境負荷低減および人体への安全性に配慮した薬剤の開発、販売促進を進めています。当社が開発している水系防腐剤は、揮発性有機化合物(VOC)の排出量を抑制することで、建築用途の塗料や接着剤などに活用いただいております。揮発性有機化合物(VOC)は、光化学スモッグなどの原因物質であり、シックハウス症候群や発がん性など人体への影響があることから排出削減を求められています。当社は、開発段階より溶剤フリー処方[※]による開発を進めており、今後も環境と人にやさしい安全な薬剤の販売促進に努めてまいります。



ISO14001 登録証

※溶剤フリー処方:キシレンなど有機溶剤を含まない処方

三愛理研(株)では、環境方針を定め、環境への影響に配慮した事業展開を推進しています。

三愛石油(株)研究所とともに2003年にISO14001の認証を取得して以降、環境保全への取り組みを継続しています。

環境方針

当社は、オートケミカル製品、防腐防カビ剤等の製品・サービスの提供に対し環境影響に配慮した事業展開を従業員および関係者とともに推進します。

- 1 環境マネジメントシステムの継続的改善
- 2 環境汚染の予防
- 3 関連法規制等・自主基準その他合意事項の順守
- 4 廃棄物減量化、リサイクル、グリーン調達、省エネ等の環境改善
- 5 環境要求に応えた製品の開発
- 6 地域社会への情報開示とコミュニケーションに努める



三愛理研株式会社

環境負荷低減を追求

省エネ・環境負荷低減に寄与する設備管理

天然ガス部 川崎エネルギーセンター

天然ガス部では、全日本空輸(株)ANA殿町ビジネスセンターに川崎エネルギーセンターを設置し、天然ガスコージェネレーションシステムを活用した熱電供給を行っています。これは、天然ガスを利用した、発電と同時に蒸気や温水などを供給する環境にやさしいシステムです。

川崎エネルギーセンターではこのシステムを運用するにあたり、運転管理を委託しているTMES(株)様と、日々エネルギー供給データを分析し、安定的な効率の良いエネルギー供給に努めています。

エネルギー使用量改善実績

- コージェネレーションシステム室内の設定温度を最適化し、冬期・中間期の冷水使用量を大幅に削減。
- 冷却塔の運用を見直し、ガス使用量を削減し総合原単位も大幅に改善。



ガスコージェネレーションシステム TMES(株)様との打ち合わせ風景

給油作業車にバイオディーゼル燃料[※]を使用

羽田支社

羽田支社では、給油作業車6台にバイオディーゼル燃料を使用しています。また、電気自動車も1台導入し、CO₂削減に取り組んでいます。

※バイオディーゼル燃料:バイオマスエネルギーの一つで、生物由来油から作られるディーゼルエンジン用燃料。バイオディーゼル燃料は、使用しても地球環境上のCO₂を増加させないことから、地球温暖化防止につながります。



Close up

「三愛石油オブリの森」体験型環境研修

三愛石油グループは、化石燃料を取り扱う企業の責務として自然環境の保護に努め、森林再生事業に協賛しています。2019年10月20日、協定森林のある高知県本山町において「三愛石油オブリの森」体験型環境研修が行われ、グループ各社から42名が参加し、山間部で間伐体験を行いました。

高知県、本山町および本山町森林組合と「協働の森パートナーズ協定」を締結



参加者の記念撮影



間伐作業を体験